

第三者評価結果

事業所名：にじいろ保育園戸塚

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
A-1-(1)-① 【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
<コメント> ・全体的な計画は、保育理念、保育方針や目標に基づき作成されており、年度初めに本社より送られたものを全体で確認し指導計画の作成につなげている。 ・全体的な計画にあるように、にじいろの理念、目標に沿って各クラスの保育を進めており、クラスにおいて年齢や発達に伴い、ねらいや提供する遊び、玩具について話し合いながら次の目標を決めている。当園は本園と分園に分かれているため、日々の中での打ち合わせについてはさらに力を入れて取り組むことを検討している。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
A-1-(2)-① 【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> ・室内の温度、湿度、採光、音などの環境についてはマニュアルに基づき適切な状態に設定している。 ・各クラスにおいて室内をどのように設定するか担任同士話し合い、園児にとって安心して心地よい空間となるように配置しており、子どもの発達に合わせて定期的に見直しを行うようにしている。不具合を感じたときはすぐ話し合い、園長、主任と相談し環境の見直しを行うようにしている。	
A-1-(2)-② 【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> ・子ども一人ひとりの発達過程や家庭の状況などについては入園時に提出された書式により把握に努めており、入園後の日々様子については、連絡帳や日誌に記録し職員間で申し送りし会議において全体で共有している。 ・年齢に応じて、個々の欲求を受け止めたり、仲立ちや代弁することで子どもの気持ちに寄り添い保育にあたるように努めている。せかず言葉や静止する言葉を用いずに、子どもが行動に移せるような声掛けや言葉かけをするように心がけている。	
A-1-(2)-③ 【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> ・子どもの年齢や発達に応じて衣服の着脱、食事、排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え身につくように援助しており、0歳児は保育士の援助を受けながら、ズボン・おむつの着脱、靴下・くつのはき方などを見て覚えている。 ・1歳児では、援助のもとで自分で着脱したり食具を使ったりできるようになり、2歳児は、トイレでの排せつや給食、衣服の着脱も保育士の見守りのもと、自分でしようとする気持ちが芽生えるためほめて次につながるように援助している。 ・3、4、5歳児は、排せつ、衣服の着脱も一人でできるようになる子どもが多く、箸を使って食べる練習を始め給食の量も自己申告をして食べる量を決めている。衣服が汚れた時、汗をかいた時は自分の判断で衣服の着脱できるように援助している。	
A-1-(2)-④ 【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント> ・玩具は種類別に箱に入れ、箱の側面に入っている玩具の写真を貼って中身が分かり易いように配慮している。置き場所は手の届く範囲にしている為、子ども達は遊びたい玩具を自分で選ぶことができおり、片づけは「玩具をお家に帰してあげようね」と子ども達が納めできる声掛けを実践している。 ・各保育室には年齢に応じて玩具や絵本を設置し、子どもの興味に合わせて手作り玩具も揃えている。幼児組では知育玩具などを増やしたり、いろいろな素材を使っての制作を楽しめるようにしている。 ・散歩にでかけた際には保育した見本となり地域の方に積極的に挨拶をするように努めており、子どもたちも親しみを持って挨拶を交わしている。 ・近隣には自然が楽しめたり遊具を楽しめる等の特徴を持つ公園が10分所程度あり、電車が見える広場もある。子ども達はかけっこをしたり、遊具で遊んだり、探索活動に夢中になったり、電車の見学などを楽しむことができている。	

A-1-(2)-⑤
【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・0歳児保育室にはフローアと段差が無いように配慮された畳の部分を用意しているため、午前寝をしたり、ゴロゴロしたりハイハイでの移動が安全にできるようにしている。また、掴まり立ちが出来る高さに柵が置かれているので、子ども達は掴まり立ちをしたり伝い歩きもしている。園庭にブルーシートを敷いて外気浴をしたり、玩具で遊んだり、他のクラスの子どもが遊ぶ様子を見て楽しんでいる。散歩では、子どもの成長に合わせてバギー、立ち乗りカーを利用したり、徒歩で出かけたりなどの対応をしている。

A-1-(2)-⑥
【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・1歳児クラスでは、自我が芽生えてくるので気持ちを受け止め、遊びに関しても一人遊びよりも友だちと同じ遊びをしようとする姿がみられるため、代弁したり仲立ちをして友だちとの関わりを持てるように援助している。
・2歳児では、言葉がしっかりと出るようになることから、友だち同士で誘い合って遊べるようになるため、玩具の貸し借りをしたり一緒に遊べるように仲立ちしている。公園などでも探索活動を活発に行い、園に帰って話してくれる姿も見られている。

A-1-(2)-⑦
【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・3、4、5歳児クラスでは、各担当が子どもの発達や友だちとの関わりなどを考慮した遊びや活動、制作を考え環境を整えている。今年度はコロナ禍のため、行事内容の変更や規模の縮小などがあり幼児のみで行うことが多く、その都度保護者に伝えている。
・ルールのある遊びを通して集団で遊ぶ楽しさやきまりを伝えるようにしている。制作も共同制作をするようになり、数人で協力しながら車や建物等大きなものを作って楽しんでいる。
・屋内では制作活動を実施する為に廃材とノリやハサミを用意して、自分の想像したものを自由に制作できるように支援している。大きな紙に様々な色を塗って自由に引っかけ制作や、海の中に住んでいるものを連想して制作につなげるなど子どもの発想を大切に援助している。

A-1-(2)-⑧
【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・障害のある子どもの保育では、各担当が個別の指導計画を作成している。保育士が必ず付いてクラスの活動が円滑に実施できるようにしている。また保護者と情報を伝えあい、面談や療育との連携など適切に行っている。
・専門機関の巡回訪問があり、子どもと一緒に過ごして状態を確認したり、アドバイスをもらう機会を設けている。アドバイスを受けた場合には、全体で情報を共有している。なお、保護者には求められれば情報提供している。

A-1-(2)-⑨
【A10】 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・朝夕の時間帯では、異年齢での合同保育を行っている。幼児クラスから移動していることで、人数の調整を行い、怪我のないように保育室内の環境整備に配慮している。クラス担任からの引継ぎはきちんと行い保護者に伝えるように取り組んでいる。
・延長保育時間帯では、希望により捕食と夕食の対応も行っており、子どもが空腹を感じることなく過ごせるように配慮している。子ども達はどの先生にも慣れており、一人ひとりに対応している為、精神的に安定できる環境となっている。

A-1-(2)-⑩
【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

b

<コメント>

・コロナ禍のため、小学校との交流や5歳児交流が中止になっており、計画などできない状況にある。
・子どもたちには、担任から折に触れ、就学を見据えた話や心構えなどについて話すなどの配慮をしている。

A-1-(3) 健康管理	第三者評価結果
【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<コメント> ・看護師が常駐しているので、入園時にそれまでの健康状態は確認し把握している。日々の子どもの健康管理についてはガイドラインに基づき看護師を中心に対応しており、日頃から健康面で心配事があったら声掛けするよう保育士や保護者に伝えている。 ・看護師は、定期的に身長・体重を計測し、頭囲と胸囲も計測している。全ての情報は「健康の記録」に記載して連絡帳やアプリで保護者にも伝えている。コロナ禍でもあり、看護師は手洗い指導に力を入れており、各部屋を廻って紙芝居・絵本・エプロンシアターを活用しながら指導したり、幼児には両手に蛍光塗料を塗って手を洗わせ、その結果をみんなで確認している。洗い残し部位が光るのを見て、子ども達は驚き丁寧に洗うようになっている。	
【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<コメント> ・子どもの健康診断・歯科検診・体重測定等の結果は、連絡帳やアプリで保護者に伝えているが、紙面や口頭でも直接保護者に伝えている。成長曲線が気になる子については、医師の助言に従って見守りをしたり工夫が必要な場合は保護者にその旨伝えている。また、歯科医から得た情報や（適切な歯ブラシ・磨けてない部位等）、内科医から得た情報は（感染症関連・流行等）、保健だよりに掲載し周知を図っている。なお、コロナ禍の為、歯磨きは中止している。	
【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<コメント> ・慢性疾患のある子どもについては、看護師が作成したそれぞれの疾患の注意事項に基づいて対応している（各職員が持っている）。アレルギー児については、ガイドラインに沿って対応しており個別に面談を行って開始期を決定している。具体的には①医師の「管理指導表」を提出して頂き、②保護者・看護師・栄養士が面談し、③家庭での状況を確認し、保育園の対応を伝えて書類を作成している。保護者は、作成した書類を自宅に持ち帰りサインをして保育園に戻している。除去し難い乳・卵は基本メニューに入らないものを考案し、食パンは米粉パンに変更している。バナナはフルーツとして提供する場合がありますので除去し、魚介類（魚・鰹節・ツナ）等も除去している。	
A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<コメント> ・例年食育として調理を実施していたが今年では中止している（コロナ禍の為）。乳児クラスでは、調理の前に野菜を見せたり、3歳～4歳児にはクイズ形式で楽しく野菜と接することが出来るように配慮している。また、穀物を水で戻すとどうなるかを見せて子ども達が食材に興味を抱くような支援もしている（春雨・ワカメ・ひじき・切り干し大根等）。 ・昼食やおやつの中に入っている野菜のうち、どんな野菜を食べられたかを自己申告して貰い食べられた野菜の数に応じて「頑張ったシール」を渡すなどの取り組みがある。 ・5歳児には食事のマナー関連のイラストを利用して、守ってもらいたいマナーを自分たちで考えることができるように援助している。	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べるのできる食事を提供している。	a
<コメント> ・本部のメニューを使用し（2サイクル）、材料は当園で購入している。出汁は化学調味料を使わずかつおと昆布で毎日作り、季節や素材の味を大切に提供している。 ・栄養士は毎日ラウンドして子ども達に声掛けしながら喫食状況を確認したり、保育士から情報を得たり、給食日誌に目を通して食材の切り方・味付け・硬さ等を検討している。 ・好き嫌いだけでなく気分的なものもあるので強要せず、子どもの申告に基づいて担任が配膳する際に量を調整して完食できるように配慮している。なお、保護者アンケートで「量が足りているか不安」との指摘があったので確認したが、アレルギーの子が多いので誤配の心配ある為おかわりは対応していないとのことである。 ・行事食も実施しており（子どもの日・七夕・月見・ハロウィン・七五三・クリスマス等）、世界の料理も提供している。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
<p>【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに懇談会を実施したり、個人面談を行っており、保護者が話しやすい雰囲気を作るように取り組んでいる。保護者への連絡や保育についての理解を促すために、ボードや写真を使って発信している。 ・保護者の希望で連絡帳をツールとして情報交換をしている場合と、アプリを使って情報交換をしている場合があり、選択可能としている。乳児は①家庭での様子②家庭からの連絡③園での様子④園からの連絡の項目があり、子どもの毎日の様子を細かくやり取りし保護者と共有することができている。 	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
<p>【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に園長・主任が異動したため、朝夕の挨拶や行事に関するやり取りなどを通して、保護者との信頼関係を築けるように取り組んでいる。 ・保護者との面談は全保護者に周知した上で保護者の都合に合わせて日時を決め実施した。なお、コロナ禍の為、全ての保護者は「玄関対応」となっていることから、日々の会話についてはあまり時間をかけることができない状況にある。 	
<p>【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園時に子ども達への視診を励行する事になっており、小さな兆候も見逃さないように担任との連絡は密にしている。外見上分かる傷を発見した場合には保護者にも確認して看護師に連絡し、看護師が記録することになっている。また、いつもと異なる状態の場合でも看護師に連絡している。 ・当園から児童相談所や役所の担当者に連絡したことは無いが、連絡や問い合わせがあった場合には対応し記録している。 ・研修は数名が参加することができているが、園内においても職員研修を実施し周知することを検討している。 	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
<p>【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りについては、日、週、月、期ごとに行っており、法人共通のフォーマットに記録する仕組みとなっており、一人ひとりが実践し次につなげられるよう取り組んでいる。 ・保育士の各々の自己評価を通し、保育の振り返りや子どもの活動の確認などをすることができている。年度末にまとめて保育所の自己評価につなげることで、自分では気づけなかったことに気づかされたり、足りないところの発見をすることができている。 	